2026 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名　abc 株式会社
代表者名　代表取締役社長　松田 元
（コード：8783、東証スタンダード市場）
問合せ先　経営企画部 部長　谷井 篤史
（https://www.abc.co.jp/form/corp/）

（開示事項の経過）フィジカル AI ロボット事業における国内大手ガラスメーカー向け搬送 PoC 案件の受注に関するお知らせ

当社は、2026 年９月 10 日付適時開示「（開示事項の経過）フィジカル AI ロボット事業における国内検証完了、海外における技術・商談現地調査の実施及び実用化・商業展開フェーズ移行に関するお知らせ」において、実用化・商業展開フェーズへの移行と、導入検討企業での実証（PoC）の本格化について公表いたしました。

このたび、その最初の具体的な案件として、当社の戦略的パートナーである株式会社ビッグハンズ（以下「ビッグハンズ」といいます。）が、国内大手ガラスメーカーからコンテナボックス搬送に関する PoC（概念実証）案件を受注いたしました。あわせて、当社が保有する「Galbot G1」１台を、本 PoC に使用する機体として提供することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．これまでの経緯

時期	内容
2026 年４月 16 日	フィジカル AI ロボット事業への参画を公表
2026 年７月 14 日	当社が購入したヒューマノイドロボット実機「Galbot G1」を受領し、社内デモ環境での初期検証を開始（同日付開示）
2026 年８月	中国（青島市、煙台市、北京市等）で技術展示会の視察、開発元（Galbot 北京本社）の訪問、データ訓練施設の調査を実施。国内大手ガラス・素材メーカーおよび大手総合機械商社の担当者も同行し、透明・高反射部材の認識・把持について技術協議を実施
2026 年９月 10 日	国内での基本検証の完了と、実用化・商業展開フェーズへの移行を公表（同日付開示）
2026 年 10 月 30 日	ビッグハンズが国内大手ガラスメーカーから搬送 PoC 案件を受注。当社保有の「Galbot G1」１台を本 PoC 向けに提供（本件）

２．本件の概要

本件は、2026 年９月 10 日付開示で公表した素材・製造業向け実証実験（PoC）の取り組みが、顧客企業からの正式な発注に至ったものです。

発注者	国内大手ガラスメーカー（※）
受注者	株式会社ビッグハンズ（当社の戦略的パートナー）
案件内容	コンテナボックス搬送の PoC ランダムに積まれたコンテナボックスを、ヒューマノイドロボットが画像認識により１個ずつ取り出し、所定の置き場まで自律移動して位置決めして降ろす一連の作業について、成功率・サイクルタイム・振動等を実機で検証するもの
実施場所	ビッグハンズの検証施設（顧客企業からコンテナボックスの支給を受けて実施）
実施期間	2026 年 11 月上旬～12 月下旬
発注日	2026 年 10 月 30 日
納期	2026 年 12 月 25 日
使用機体	ヒューマノイドロボット「Galbot G1」１台（当社保有）
当社の役割	①当社が保有する「Galbot G1」１台を、本 PoC の実施期間中、ビッグハンズへ無償で貸与 ②事業企画・案件組成として、顧客との導入要件の整理および PoC の計画立案を支援 ③PoC の検証結果を踏まえ、顧客企業への正式なレンタル（RaaS）または機体の販売を、ビッグハンズと共同で提案

※ 相手先との守秘義務により、社名は公表しておりません。

３．本件の位置付け

本件は、当社のフィジカル AI ロボット事業として、顧客企業から正式に発注を受けた初めての PoC 案件であり、当社が保有するロボット実機を顧客案件に投入する初めての取り組みです。当社は、本 PoC の受注と導入実績の獲得を優先し、PoC 期間中は機体を無償で提供いたします。PoC の結果を踏まえ、顧客企業への正式なレンタル（RaaS）または機体の販売へとつなげることで、収益化を図ってまいります。

当社は、本 PoC で得られる作業データや運用ノウハウをもとに、同様の課題を抱える製造・物流企業への横展開を進めるとともに、ビッグハンズと連携して、機器レンタル・保守運用・二次開発ソフトを一体で提供する RaaS（サービス型ロボティクス）モデルによる本格導入への移行を目指してまいります。

４．今後の見通し

本 PoC における機体の提供は無償であり、本件による当社の 2027 年８月期（当期）業績への影響は軽微です。

今後、本 PoC の結果を踏まえた正式なレンタル（RaaS）契約または機体の販売契約の締結など開示すべき事項が生じた場合や、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上